

教えて 学んで 楽しもう

学びのトレジャー

Vol.6

2024年2月23日

小学校の英語と中学校の英語は別のもの？

大阪府大阪市立桃谷中学校

我妻 夏 先生

「中学校の英語と小学校の英語は違うらしい。」兼務で外国語を教えていた小学校6年生が中学校入学前に口にした言葉です。「英語が違う」とはどういう意味なのでしょう？教科化にともない小学校の外国語においても「読む」「書く」の活動が入ってきました。しかし授業において「聞く」「話す」活動が占める割合は依然として高いです。特に「書く」ことにおいて、小学校では単語を書き写すことはできても、綴りを覚えて書くところまでは求められていません。中学校でいきなり多くの単語を覚えるように言われたのでは戸惑う生徒もいると思います。小学校との連続性のある指導が望まれます。

本校では"相手意識"を大切にしたペアでのやり取り、small talkを中学校においても授業の最初の帯活動として続けています。生徒の得意とする音声面での強みを生かして、1年生が「英語の授業は思ったよりは難しくないな。」「小学校の続きだな。」と安心して、中学校英語の導入時の負担を少しでも軽くすることがねらいです。身近な話題から社会的な話題に少しずつ進んでいきます。

もちろん「読む」「書く」の活動も必要です。生徒は小学校でphonicsを用いて音と文字の関係を学習します。アルファベットの音読み、名前読みも理解しています。ただし週2時間の外国語の授業の中でできることは限られています。特に音から綴りにしていくことはまだまだ困難なようです。これを中学校でも引き継いでいねいに指導していくことが大事だと思います。

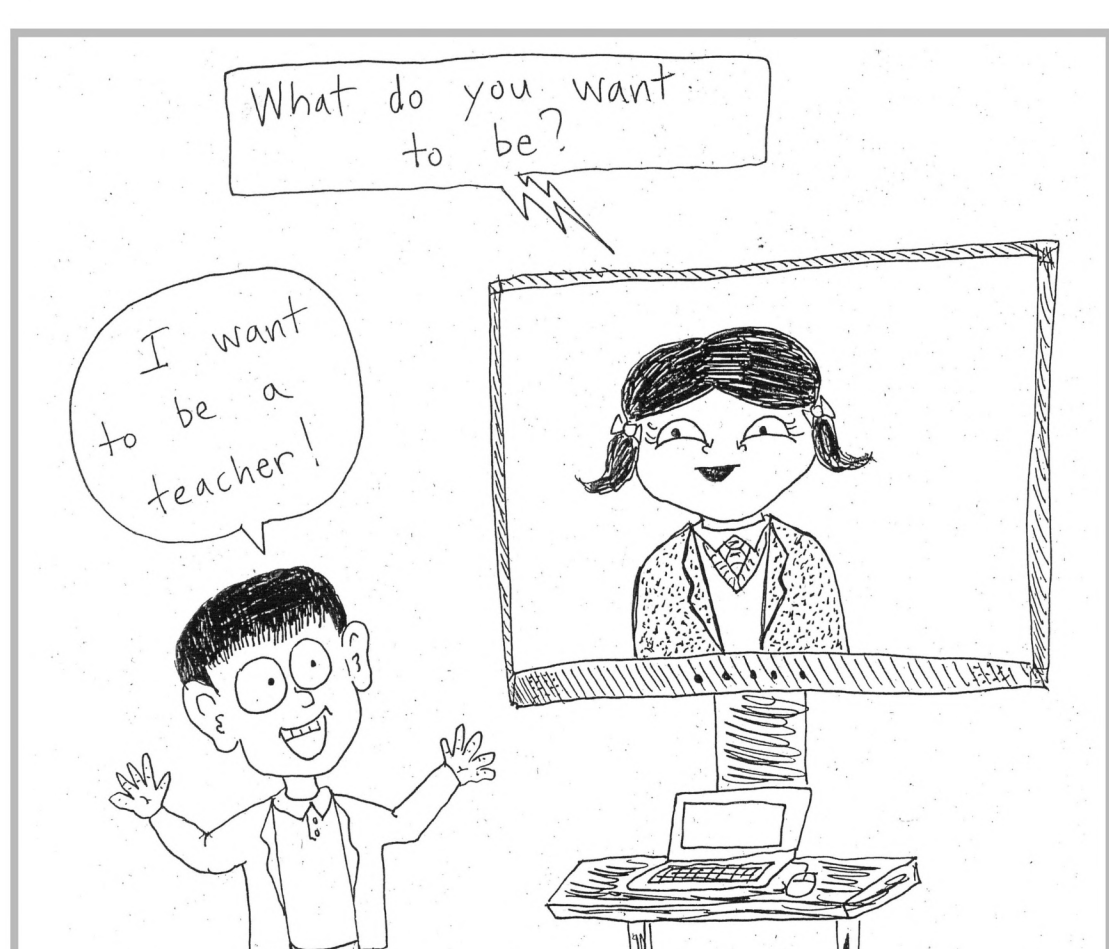
PROGRAM 0 アルファベットを確かめよう

1 身の回りのものでアルファベットの名前読みと音読みを確かめましょう。

A a ant / apron	B b baseball	C c clock / city	D d desk
H h helmet	I i ink / idol	J j jacket	K k kettle
O o omelet / OK	P p piano	Q q question	R r roof

▲SUNSHINE 1 PROGRAM 0 アルファベットを確かめよう

本校では小中連携の一環として3学期に校区の小学校6年生のクラスと中学校2年生のクラスをオンラインでつないで、英語の授業を行っています。中学生は小学生からの質問に答え、そのあと小学生に質問をします。一対一の対話となります。やり取りはすべて英語で行います。お互いを理解するよい機会であると同時に小学生にとっては中学校での学習に対する不安を少しでも解消できる機会になります。



開隆堂